

うつのみやまちづくり市民会議 議事録

会 議 の 名 称	市民会議（第 7 回教育文化振興分科会）
開 催 日 時	平成 18 年 4 月 26 日（水）午後 6 時 30 分から 8 時 45 分
開 催 場 所	宇都宮市役所 会議室
出 席 者	（市民委員）大塚会長，鶴見副会長，佐藤副会長，伊澤委員，遠藤委員， 加藤委員，鈴木委員，金田委員，斉藤委員，福士委員 （欠席：石原委員，坂井委員） （市事務局）
会 議 内 容	・全体会議の紹介 ・宇都宮市の教育文化のビジョン ・施策目標の検討
会 議 資 料	1．第 7 回資料 2．第 2 回全体会議資料
発言者	発言内容
進行	それではこれから第 7 回分科会を行います。 （出欠確認） まず前回の全体会での議論について情報共有したいと思います。
進行	（全体会議資料，議事録等をもとに説明）
市民委員	全体会では，他の委員から，社会のメンバーとして，公のなかで生きているということへの教育についても議論してほしいという意見がありました。
市民委員	その点は青年向け教育プログラムのなかに含めることができるかもしれません。
事務局	学校教育を対象にした重点課題が 1 つくらいあってもよいかもしれないと思いました。地域で教育をすること等，学校外での教育も大切ですが，やはり学校をどうするかという視点での議論ももっと必要ではないでしょうか。
各市民委員	（議論した内容を次々頁に整理）
市民委員	全体会でも少しお話しましたが，今後宇都宮市が何で食べていくかという視点にたって議論することが必要だと思います。

各市民委員	(議論した内容を次頁に整理)
事務局	本日だけでは議論し尽くすことは難しいので、全体会で発表した重点課題にプラスするものがあるかどうかについて、皆様には持ち帰って一度お考えいただき、次回の分科会でもう一度議論したいと思います。また、今の資料の表現で修正すべき点についても次回お教えてください。
進行	続いて今年度の進め方について議論を進めたいと思います。
事務局	(資料説明)
市民委員	重点課題ごとに目標をたてる前に、教育文化全体のビジョンなり目標なりが必要かと思います。
各市民委員	(議論した内容を次頁に整理)
市民委員	皆さんのビジョン案で概ね共通しているのは、自然と文化（便利さ）に囲まれながら、みんなで共に育つという視点であると思います。こうした視点からズレないように、各施策を考えていきましょう。
進行	本日は各施策の目標までは議論する時間がありません。資料の例（p18）を参考に、どのような（利害）関係者が考えられるのかについて、次回までに考えてきて頂きたいと思います。 次回は 5 月 22 日（月）18 時 30 分から行いたいと思います。 それでは以上で第 7 回の市民会議教育文化振興分科会を終了します。 ありがとうございました。 ※確認 次回までの各委員の検討項目 ①重点課題の追加案（あれば） ②重点課題の表現の修正 ③各重点課題ごとの利害関係者の検討

○ 学校教育について

- ・ 多種雑多な業務が教師に集中
- ・ 学校の役割の見直しが必要
- ・ 基礎学力の低下への対応が課題
- ・ 少子化への対応
- ・ 安全対策
- ・ 高等教育の魅力が低いことが問題

○ 市は何で食べていくかについて

- ・ サービス業か？工業か？
- ・ 観光（日光，那須との連携）
- ・ 公園，自転車で行ける道路
- ・ 大学を卒業した人材を活用できているか？
- ・ 仕事の創出力が弱いのではないか？

○宇都宮市の教育文化のビジョン案について（発言順）

- ・ 子どもを生み育てやすいまち
- ・ いろいろな選択肢があるまち
- ・ やさしさのあるまち
- ・ 自然を活かした人育てができるまち
- ・ 地域のよさが出るまち
- ・ “うちの子”に閉じない教育（みんなで育つ・育てる，とも育ち）
- ・ とともに生きともに育つ宇都宮
- ・ 若者も年寄りも集まるまち
（若者が住める街，老いも若きも楽しめるまち）
- ・ 安心安全・ゆったり・のんびり
- ・ 笑顔あふれ，覇気・活気のあるまち
- ・ 力を合わせ楽しく住もう宇都宮
- ・ 青年育て・親育て
- ・ 親力のある交流のまち
- ・ 自然と街の共存，自然と文化の共存，自然と便利さ
（自然と文化にあふれ交流の豊かなまち）
- ・ 自力，自立（社会からも必要とされる）

⇒概ね共通するのは、「自然」「文化（便利さ）」「ともに育つ」という視点

以上